

モラルサイエンス研究会（令和2年5月13日）発表要旨

鉄道のアメリカ史 —「大陸横断鉄道」と19世紀アメリカ社会—

社会科学研究室
研究助手 宗像 俊輔

本発表は、19世紀アメリカ社会を形成する上で鉄道が果たした歴史的役割を、「大陸横断鉄道」から考察した。帝国としての体裁を整えつつ、資本主義体制の確立途上にあつた19世紀アメリカで、「大陸横断鉄道」は計画・建設・運行の各フェーズで強い影響力を持っていた。この鉄道路線を構想した者の思想的背景、建設と運行に関わった労働者の姿を浮き彫りにした。そして、アメリカ人の中で夢想されていた海外膨張の具現化とその挫折を、連邦議会議事録や各種請願、新聞史料から描き、労働力の効率的な管理が進行し労使関係のあり方に変化を及ぼしたことを、「従業員名簿／給与明細表」と「服務規程集」などから検証した。本研究を通し、国家間の格差や、マイノリティへの差別的待遇、労働運動の抑圧などの現代的な問題に対してモラル・サイエンスがいかなる役割を果たせるのか、その基盤となる歴史的経緯を明らかにしていきたい。